

一般質問通告書

令和 7 年 1 月 25 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 15 番 廣部 真造

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は 1. 全項目一括質問一括答弁
 2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号①) 発言事項	産業用地開発事業における戦略的企業誘致と支援制度の拡充について
要旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	マキノ町西浜地先の産業用地開発事業は、滋賀県と高島市が連携して推進する重要事業であります。先日、全員協議会において本事業の企業ニーズ調査結果が報告されました。製造業および物流業の一定規模以上の企業を対象とした結果、事業環境としては「地価の安さ」が最も高く評価され、次いで「住環境の充実」、「企業支援制度」という順位がありました。
その他、本事業の意義はどこにあるのでしょうか。私は、企業誘致を通じた地域経済の活性化、そして何より雇用の創出にあると理解しております。第2次高島市総合計画の大分類『かもす』においても、産業・経済の振興が掲げられています。少子高齢化が進む本市において、若年層の市外流出を防ぎ、住み続けていただくためには、市内で働き続けられる場所を創出することが喫緊の課題です。	今回の県連携事業では、高島市のはかに大津市、東近江市が選定されています。進出企業から見れば、これらは競合相手であり、数ある候補地の中から本市が「選ばれる」必要があります。そのためには、単に県の調査結果（製造・物流）に留まらず、本市の強みと弱みを多角的に分析

し、戦略的なアプローチが求められます。

例えば、和歌山県白浜町の事例があります。同町は、使われなくなった企業の保養所を活用し、首都圏のIT企業のサテライトオフィス誘致に成功しました。「眺望が良い」という立地の強みと、手厚い支援策を組み合わせることが成功の要因であると考えます。加えて、企業の生産性向上というメリットも確認されたことが、企業誘致事業の継続性を生み出していると考えます。白浜町の事例はターゲットを絞り、地域の強みを生かしつつ、弱みを制度で補完した好例と言えます。本市においても、このような戦略的な視点が必要であると考えます。

企業誘致は都市間競争であると認識しております。この大前提に立ち、現在の条例や支援制度を再検討し、競争力のある新たな制度を創設すべきと考えます。そこで、以下の7点について市の見解を伺います。

1. 過去の実績評価について

ここ10年間の企業誘致実績において、企業側は本市の支援制度をどのように評価し、進出の判断材料としたのか。その有効性の分析について伺います。

2. ターゲット業種の拡大について

県のアンケートでは業種が限定されていましたが、その他の業種に対する誘致活動はどのように展開していくのか。

3. 戦略・戦術の構築について

マキノ西浜地区独自の強み・弱みをどう捉え、今後の戦略・戦術に具体的にどう反映させていくのか。

4. F補助金の活用について

原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金（F補助金）という本市ならではのメリットを、より積極的にアピールすべきと考えますがどうか。

5. 労働力確保支援について

用地や建物への助成だけでなく、企業の懸念材料である「労働力の確保」に特化した支援策も必要と考えますがどうか。

6. 情報発信の強化について

企業立地フェアやマッチングイベントへの出展、情報ポータルサイトの活用など、攻めの情報発信についてどう考えるか。

7. 産業用地開発事業に特化した支援制度の拡充について何か検討しているか。